



げんきっこ

R3・4・8



はなまつり

4月8日は仏教を開いたお釈迦様の誕生日です。今から3000年前くらい昔、お釈迦様はインドの国のルンビニーという花園でお生まれになりました。そこには、一面赤、青、黄といろとりどりの花が咲き乱れておりました。誕生されたお釈迦様は、すぐに7歩歩いて右手をあげて天を指さし、「天上天下唯我独尊」と称えられたと伝えられています。それは、「われはこの世の中で立派な人になって世界中の人々を救わん」「人は生まれながらにして何のものにも代えられない独自の尊厳性をもっているものである」「人は生まれながらにして尊し」とお互いの人間性の尊重を教えられているのです。時には天はさらさらと甘い雨を降り注ぎ、お釈迦様の身体を清めたと伝えられています。現在、ルンビニーの花園をかたどった花御堂を作り、天と地を指さしておられる誕生仏をまつり、甘茶をかけて祝福する習わしはこのようことから伝えられたもので「はなまつり」と呼ぶ由来もそこにあります。

花まつりは、仏さまとしてのお釈迦様の誕生をお祝いするとともに、私たちが人間として生まれてきたことの意味をお釈迦様の教えによって明らかにしたいという心を持つ日でもあります。



みんなで作った花御堂



白い象に乗ったお釈迦様をみんなで引かせて頂きました。



お誕生日のもうひとつの意味

お釈迦様は、生後7日にして、実の母マヤーを失っています。お釈迦様の「世に母あるは幸いななり」のこの一言は子どもが親を、親が子どもを思う心を物語っています。花祭りの意味は、お釈迦様の誕生を祝うだけでなくもうひとつ、苦しい思いをして自分を生んでくれたお母さんに「生んでくれてありがとう」をいう日でもあります。

あおい保育園では、園児の誕生日にはお母さんにペンダントを渡します。このペンダントには「自分を生んでくれてありがとう」の気持ちが込められています。

みんなが大好きなお母さんは
大変な思いをして
みんなを産んでくれたんだよ



ばら組さんは自分の誕生日に
大好きなお母さんへペンダントを作ります。